

おおさかコミセン便り

第619号

令和6年 3月21日 大坂区 コミセン館長 齊藤忠明
発行 コミセン主事 渡辺英邦
編集 コミセン副主事 滝田武志

令和6年度 組長会長及び各団体役員等の紹介

1 組長会長

東：組長会長	生田正人（23組）	西：組長会長	森戸勝広（19組）
--------	-----------	--------	-----------

一年間、東西の組長の皆さんをまとめ、区長を始め区役員とのパイプ役をお願い致します。

2 各種団体役員

団体名	交通委員	体育委員	防災委員	婦人部
委員長	江上健二（15組）	杉山浩司（3組）	田村宗祐（8組）	野川淑恵（15組）
副委員長	椎田政樹（17組）	助宗 剛（15組）	山崎譲二（18組）	佐藤純子（21組）
会計	永嶋 聡（8組）	天野道弘（12組）	黒木秀幸（4組）	高木恵美（40組）

一年間、区の各種行事等に協力をお願い致します。

3 中学校PTA支部長

東中学PTA支部長：山崎めぐみ（18組）	西中学PTA支部長：五十嵐千恵子（8組）
----------------------	----------------------

さいと焼き・各例祭時には、よろしく申し上げます。

4 子供会支部長

東子供会支部長：會田典子（41組）	西子供会支部長：木元まさみ（12組）
-------------------	--------------------

一年間、よろしく申し上げます。

4月の行事予定について（お知らせ）

月	実施日	行事内容	備考
4月	7日（日）	河川一斉清掃	担当：区・東組・西組 防災委員（ゴミ回収）
	14日（日）	金刀比羅神社祭典 浅間神社春の例祭	担当：区、氏子総代 西組の組長、婦人部

※令和6年度に行う、区の各種行事に対する皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

大坂老人クラブの活動状況について（2・3月誕生会）



久しぶりの集合写真（R6 総会資料の表紙予定）

老人クラブ（会長：杉山光運さん）が開催する2・3月誕生会が、2月23日に大坂コミセンに於いて行われました。あいにく、誕生者の方々は欠席されましたが、ゲームやカラオケで楽しい時間を過ごしました。

次の集まりは4月21日（日）、令和6年度「総会」（誕生会兼ねる）となります。

※老人クラブは4月1日より、名称が「シニアクラブ」となります。ただいま「会員募集中」です！

地域福祉大坂支部主催による「認知症サポーター養成講座」が開催されました。



講座には36名もの受講者がありました。講師は増井知子さんで大坂38組の方です。

3月9日（土）大坂コミセンに於いて、第1回となる地域福祉大坂支部主催による「認知症サポーター養成講座」が開催されました。大坂区における地域福祉の「きっかけ」になれば幸いです。

地域福祉の始まりは、ご近所さんとの「あいさつ」からではないでしょうか？ 地域で支えあう福祉を目指して、地域福祉大坂支部は、今後も積極的に「きっかけ」づくりを仕掛けていきたいと考えています。

区民の皆様におかれましては、引き続き地域福祉に対するご理解ご協力を宜しくお願い致します。

地域の文化・慣習等を知るために その2（伝承250年「大坂湯立神楽」）

前回に引き続き、今年伝承250年を迎える「大坂湯立神楽」について、パンフレットに基づいて解説して行きたいと思えます。（以下引用）

【伝承】

安永2年（1773）6月、大坂の神楽に関する経緯を示す古文書が残っている。

これによれば、明和8（1771）年に若者が笛を吹き覚え、次第に太神楽の調子に吹き真似て上達したことから、お盆の氏神祭りにやってみたいと言い出し、安永2年に一部の若者が村役人に祭礼の獅子舞披露を申し出たことが発端で村を巻き込んだ騒動となっている。

叱られることを恐れた若者たちが仙石原に湯治に行くと偽って3日間逗留した後、事実確認の上で村役人に謝罪し、八ヶ郷の他の7ヶ村の名主に同様の騒動を起こさないと約束した上で騒動は収められた、という内容である。翌年の安永3年、湯立神楽に現在使用されている教則本が伝わったとされているが、これよりも早い明和8年には村の若者の中で

神楽が流行りだしたことが推測される。

【湯立神楽】

練習は1か月ほど前から始まり、前日は大坂浅間神社で精進潔斎のオコモリが行われる。

当日は境内に大型の五徳を置いて、その上に大釜を据え、その四方に忌竹を設置し、荒縄を張ってシデを吊るす。神社の向かって右側には、湯棚を設け、湯立神楽で使用する幣束と湯たぶさ用の笹を束にしたものをそなえる。

夕方、釜の薪に神火が灯される。時間がやってくると、舞方達は神社の前で拝礼し、オオカワ（黄瀬川）へ「六根清浄」を唱えながら走って行き水の中に飛び込んで水を掛け合う。

湯立神楽は悪魔祓いのために行うとされ、湯立が行われる日の晩から翌日にかけて行う一連の神楽は夏の疫病退散と御霊鎮め、悪魔祓いを目的としている。宮締めの際に松明で先払いをする儀式があり、大松明2本が宮の廻りをめぐる姿は必見である。（幻想的です。一度見に来て下さい！）

お悔やみのお知らせ

3月 1日 5組

平山一郎さんがお亡くなりになりました

心よりお悔やみ申し上げます